



# ほけんだより 10月号



2022年10月  
万博れんげ保育園

昼間は汗ばむ日もありますが、朝夕はグッと冷え込むようになりました。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、手洗い・うがいや衣服の調節などをして、かぜの予防をしましょう。

## 9月の感染状況

流行性角結膜炎 1件    新型コロナウイルス感染症 2件

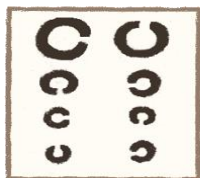
発熱や風邪の症状が長引いたり、感染性のないものの虫刺されなどから目をこすったりしてものもらい（めばちこ）のような症状の子が数人いました。

## 10月10日は 目の愛護デー



### 3.4.5歳クラスは 視力検査を行います

子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成すると言われています。その後視力が低下するのは、幼い頃の姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。自然の中で十分に遊ばせ、外の景色をたくさん見せることでお子さまの視力を育てていきましょう。



### こんな見方は危険信号！

- ・テレビや絵本に近付いて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めて見る
- ・上目遣いに物を見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている
- ・見る時に首を曲げたり、頭を傾けたりする

このような症状が見られると斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか普段から気にかけて見るようにしてください。

## 聞きなれないけど流行ってる ヒトメタニューモウイルス

鼻水や咳とともに 38.5℃以上の熱が出ることがあります。

高熱が出るので最初はインフルエンザと間違われることもあります。また少数ですが嘔吐や下痢もみられ急性胃腸炎と診断されることもあります。

感染症への特別な治療薬はなく、特効薬もありません。このため、症状を和らげる咳止めや解熱剤などの対症療法が行われます。安静にして休養し、水分は十分摂りましょう。

発熱したお子さんは、解熱するとウイルスの排泄はほぼなくなるといわれますが、咳が強い場合は登園のタイミングをかかりつけ医と相談しましょう。

## インフルエンザ 予防接種の時期です

大阪府内でもインフルエンザが数例みられるようになりました。

13歳未満の子どもは2回接種が必要となり、2回目との間隔は2~4週間あける必要があります。12月後半頃から流行期までに抗体をつけるには、10月中に1回目の接種を行うことが推奨されています。

園でも例年同様接種状況を把握させていただきます。予防接種を受けられたら、コードモンの記載で構いませんのでご連絡いただきますようお願いいたします。